

2023（令和5）年度 新潟農業・バイオ専門学校
学校関係者評価委員会 議事録

新潟農業・バイオ専門学校 教務部

日 時 : 2023年9月15日（金） 17:30-18:30

場 所 : 新潟農業・バイオ専門学校 第一実験室

出席者 : ○学校関係者評価委員会

廣川 一雄 長潟新栄自治会 会長（近隣住民）
田中 一幸 株式会社 ベジ・アビオ 取締役（関連企業）
山倉 和葵 山倉農園（実習受入先・卒業生）
岡田 未波 株式会社 芳樹園（卒業生）
前田 和明 在学生保護者

○新潟農業・バイオ専門学校

学校長 大田 英則／副校長 秋山 正之／教務部長 槇坂 寛幸／
事務局長 清野 健正

議 事 : 議題① 令和4（2022）年度 学校運営報告
議題② 令和4（2022）年度 内部評価委員会報告
議題③ 令和4（2022）年度 学校関係者評価協議

議題① 令和4（2022）年度 学校運営報告

在籍状況、卒業生進路実績、検定・コンペ実績、教育活動について配布資料に使い説明した。

議題② 令和4（2022）年度 内部評価委員会報告

9月1日実施の内部評価委員会における、令和4（2022）年度の内部評価を報告。
昨年度から変更した評価は以下の通り。

4. 学習成果	24. 退学率の低減が図られているか	前回3 ⇒ 今回2
---------	--------------------	-----------

《理由》 令和3年度は退学者0名であったが、令和4年度は退学者が5名と悪化したため。

議題③ 令和4（2022）年度 学校関係者評価協議

内部評価と評価委員の事前アンケートを基に評価指標案を提示。各項目について協議を行った。

1. 教育理念・目標

校訓を柱とした職業教育は実践されている。特に問題ない。

2. 学校運営

《意見》

田中委員：学生の通年実習について、決まった曜日での実習だと、学んでいただく作業がある程度
決まってくる。受入側の努力も必要かと思うが、期間によって曜日を変更するのはどうか。

（次ページに続く）

当校回答：今後、前後期で訪問曜日を変更するなど、時間割の編成を検討したい。

廣川委員：学校の教育活動をもっと近隣自治会にPRしてほしい。自治会では月2回程度「回覧板」を回している。山潟小学校への教育活動も含め「かわら版」などで知らせてほしい。

当校回答：地域の皆様への学校活動に対する理解を促進するため、提案いただいた内容は検討したい。コロナ禍も明けたので、学校の敷地で野菜の直売も行うなど、地域の皆様に理解促進の一環として実施したい。

3. 教育活動

《意見》

岡田委員：現在植物販売の現場にいるが、学校で学んだ植物管理の方法が活用できている。

山倉委員：学生の通年実習を受け入れているが、強いて言えばもう少し元気の良さが欲しい。

当校回答：1年次の基礎実習や就職実務にて指導したい。

4. 学習成果

内部評価の変更も含め、特に問題なし。

5. 学生支援

6. 教育環境

7. 学生の受入れ状況

8. 財務

9. 法令等の順守

特に問題なし。

10. 社会貢献・地域貢献

《意見》

岡田委員：圃場の一部を「オープンガーデン」として公開し、地域の方に楽しみを提供してはどうか。

廣川委員：地域の緑化活動として、花植え、草取りを学生たちに手伝っていただくことはできないか。

当校回答：地域の皆様に、学校の教育活動を知るきっかけとして上記の提案を取り組むべく検討する。

各項目の評価指標案が適切であるかを協議し、全委員が評価案を承認。学校関係者評価決定に至った。

以上